一 般 質 問 通 告 書 一 覧

令和７年度新城市女性議会

令和８年１月２２日

新城市

令和７年度新城市女性議会一般質問通告者順序表

令和８年１月２２日（木）午後２時から

１　遠山　恵理　議員（通告時間２０分）

・重症心身障がい児・者等の医療・福祉の向上について

２　福留　愛　議員（通告時間２０分）

・第２次新城市観光基本計画について

３　土方　幸　議員　（通告時間２０分）

・山吉田地区の避難所について

４　鈴木　晶子　議員　（通告時間２０分）

・大人の発達障害者のための支援について

女性議会一般質問通告書

氏名　遠山　恵理

テーマ	重症心身障がい児・者等の医療・福祉の向上について
現状・課題 提 案 事 項	私は新城市で生まれ育ちました。就職で一度県外へ出ましたが、結婚後に市内にて有機農業の研修をし、新規就農しました。農業をしながら二人の子育てをしましたが、２１歳の娘は５６８ｇと超低体重出生でした。このため、脳性麻痺による体幹機能の障害を持ち合わせながら暮らしています。 大人となった娘の育ちを振り返った時、医療・療育・教育・生活の様々な面で戸惑うことが多くあり、各分野での支援は不可欠です。市内でも、その充実に日々努力してくださっている多くの方のお力添えにより、このまちで子育てができたことは本当に幸せだったと実感しています。 この間、新城市こどもの未来応援事業計画や新城市障害児福祉計画において、子どもへの施策が取り組まれています。しかし、重症心身障がいのある子どもや視覚・聴覚に障害のある子ども、病気のある子ども達への支援が市内ではまだ不足しています。 全体から見れば少数ではありますが、大切なひとりひとりです。保護者が見通しを持ち、安心して子育てができる環境整備が重要かと思います。社会的な配慮の格差が常態化しないよう、子ども達が健やかに育ち、暮らし続けることのできる新城市となることを願って、以下の質問をします。
質　　問	⑴ 児童発達支援センターの整備の進捗状況と現状の課題について教えてください。また、センターの機能を整備するための市独自の政策に取り組むお考えはありますか。 ⑵ 新城市民病院において、小児リハビリテーションや主治医との連携による診療、災害時対応等医療的なサポート体制を整備していただくことは可能ですか。 ⑶ 当事者参加型で行政・医療・福祉関係者との定期的な意見交換や情報共有の機会を設置することはできますか。

女性議会一般質問通告書

氏名　福留　愛

テーマ	第２次新城市観光基本計画について
現状・課題 提 案 事 項	令和３年３月に第２次新城市観光基本計画が策定され、令和３年度～令和５年度の前期に続き、令和６年度～令和８年度の中期に入り、その中期も半分を終えました。 中期アクションプランには「新たな投資のための大幅な予算増加は本市における財政状況や社会情勢から難しい状況。新規事業やその他既存事業においても効果的な施策を実施するため、観光 DX の推進等による観光施策の再検討をおこない、投資すべき分野を見極め、限られたリソースの中で効果的に施策を実施することがますます重要となっています」と書かれています。 また、中期アクションプランでは、①鳳来東部エリア（宇連川流域）における観光振興、②スポーツツーリズムの在り方検討、③桜淵公園の新たな活用方法の検討の３つの重点プロジェクトを掲げ推進するとあります。 プロジェクトの実現と成功は、実効性のある取り組みと検証が不可欠と考えますが、中期アクションプランの特に重点プロジェクトについて、現状までの成果と課題について、以下の質問をいたします。
質　　問	(1)乳岩峡は、インターネットへの書込みや新聞記事から見ても駐車場を整備しないことで観光人口増加の機会損失を招いているように見えます。 ア）重点プロジェクトの１つである鳳来東部エリア（宇連川流域）における観光振興で乳岩峡の駐車場整備は、現状、どのような施策が取られていますか。 イ）その他、鳳来地区の四谷千枚田、百間滝、国道１５１号沿い（能登瀬付近）などの駐車場整備は、現状、どのような施策が取られていますか。 (2)道の駅「もっくる新城」はインターからのアクセスもよく、ETC2.0 搭載車両は高速道路を降りて一時立寄りも可能など、利用者からの評判もいいと思いますが、一方で店舗が狭い、施設の充実化（シャワーなど）、立ち寄り時間の延長などの声も聞かれます。 ア）来訪者の声をどのように受け止め、それに答える計画はありますか。 イ）「三河観光ハブステーション」としての認識はありますか。また、機能拡充とともに駐車場の増設を考えていますか。 (3)今年は湯谷温泉街活性化構想策定業務委託が実施され、都市計画の専門家による再整備が進行中ですが、市はどのような構想や湯谷温泉の最終的なイメージをもって業務委託されているのか、できるだけ具体

	的にお答えください。

女性議会一般質問通告書

氏名　土方　幸

テーマ	山吉田地区の避難所について
現状・課題 提 案 事 項	私は、地域防災士の資格を取り、ボランティアで活動していますので、地域の防災活動に携わる者として質問をしたいと思います。 近年は、台風に限らず、線状降水帯の発生による局地的な豪雨により多くの水害が発生しており、地震よりも身近な災害となってしまっています。 災害時に市民がとることのできる命を守るための最も確実な方法は、避難所への避難です。私が住む山吉田地区では、黄柳川小学校と山吉田トレーニングセンターが指定避難所となっています。この２つの避難所は、川沿いの低い場所にありますが、２年前の豪雨時には川の水位が上がって敷地内に泥水が流入し、危険を感じました。また、指定避難所まで移動するためには、家の位置によって橋を超える必要がある住民もみえ、移動が危険となりえます。
質　　問	⑴ 山吉田地区に限らず、災害時の適切な避難所の確保は重要ですので、移動も含めて指定避難所の安全性のチェックはどのように行っていますか。 ⑵ ア）次に、身近な山吉田地区の避難所について質問します。 避難場所としては、低く川沿いにある施設ではなく、高台にある施設が適切であると考えます。山吉田地区の住民の避難場所としては、愛知県の林業センター、山吉田こども園、黄柳野高校が災害時の避難場所の候補施設としてあげられますが、利用することができますか。 イ）市の施設ではないものもあるため、指定避難所にはできないかもしれませんが、災害時の協力関係・連携を構築して、一時的な避難場所としての利用を検討していただくことはできますか。

女性議会一般質問通告書

氏名　鈴木　晶子

テーマ	大人の発達障害者のための支援について
現状・課題 提 案 事 項	私は幼い頃から生きづらさを抱えていました。他人と比べて物事がうまくできない自分にモヤモヤした気持ちを抱えながら、それでも何となくやり過ごしながら、育ってきました。大人になり、市役所の職員の方に気付いていただき、それから病院に行って軽度の知的障害と発達障害の診断を受けました。私のようなタイプの方は、障害の有無が見た目で簡単に分かるものではありません。この診断で、やっと私の生きづらさには理由があったのだと知ることができ、心が軽くなる思いもしました。 しかし、その一方で、診断を受けた後の支援や手続きに関する情報が届きにくいという壁に直面しました。 例えば、子どもの頃から発達障害の診断を受けていれば、学校や家庭などで支援や療育を受ける機会があることが多いです。しかし私のように大人になってから診断された場合、「これから何をすればいいのか」「どこでどんな支援を受けられるのか」がすぐに分かりません。私は幸いにも市役所の職員の方に助けていただき、診断後に必要な支援を受けることができましたが、今回女性議会に参加するにあたり担当課との勉強会を通じて、初めて知ったような情報もありました。この点に関して、大人の発達障害者がスムーズに必要な支援を受けられる体制を整える必要性を感じています。 また、診断を受けたとしても、その後どう人とつながればいいのかという課題があります。発達障害をはじめとした精神障害や生きづらさを抱えた人たちが気楽に集まり、自由に交流できるような「居場所」がもっと必要だと感じています。 これらは私が個人的に経験した苦労でもあると同時に、多くの大人の発達障害者が直面している課題でもあると思います。誰もが自分らしく安心して生きていける社会となることを願って、以下の質問をします。
質　　問	⑴ 大人になってから発達障害と診断された方への支援体制はどうなっていますか。市や関係機関からの支援に関する情報をどのように発信していますか。 ⑵ 例えば、名古屋などの都市部では発達障害者のつどいといったイベントや集まりがあることを知っています。市内でもこのような取組を行うことはできないでしょうか。 ⑶ 診断後に療育手帳の取得を試みた際に、申請に必要な書類や意見書の準備が非常に煩雑で、最終的に取得をあきらめました。取得にあたっての支援や申請者の負担を軽減することはできないでしょうか。